2025年6月

理工学部

アドバイザ教員　各位

理工学部長

濱上 知樹

2025年度iROUTEの募集（依頼）

【事業の概要】

本事業は、ROUTE実施により得られた研究成果を、海外有力大学の研究室等で学生に発表させ、英語プレゼン能力や国際感覚を身につけさせることを目的としたものです。これにより、新しい国際共同研究につながることを期待しています。さらにそれが部局間協定や大学間協定へと発展することで、本学の国際化を推進することを目的としています。また、同様の理由から海外で開催される国際学会での発表も対象とします。

【募集内容】

1. 対象学生は、（学部1年生から3年生の間に）少なくとも半年以上の期間、ROUTEを実施し発表可能な研究成果を得た学部1年生から4年生とします。
2. 海外有力大学の研究室PIから同意を得た上で研究室に派遣するもの、および権威ある国際学会に採択され発表するものが対象です。
3. 旅費や滞在費の一部のみを補助するもので、すべての経費がカバーされるわけではありません（予想実費のおおよそ50－80％を補助）。採択数や派遣先の地域や期間などにより補助金額は変化します。また、本年度の渡航であれば募集前の日程でも申請可能です。ただし、会計処理について会計係に事前に確認してください。

例：米国　8日間　41万円、オーストラリア　8日間　35万円、フィンランド　7日間　40万円、イタリア　1ヵ月　60万円

【提出手順】

随時アドバイザ教員からROUTE運営WG事務へ提出

締切：2025年12月19日17時00分

提出先：ROUTE運営WG　事務　川口さやか

E-mail [kawaguchi-sayaka-cs@ynu.ac.jp](mailto:kawaguchi-sayaka-cs@ynu.ac.jp)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請主体  （EP名、EP代表名） |  | |
| アドバイザ教員名 |  | |
| 事業内容のカテゴリ  (〇で囲む) | 研究室訪問 国際学会 | |
| 派遣者（学生） | 氏名 | EP/学年 |
| E-mail |
| 派遣先の研究機関・学会 | 研究機関名・学会名 | 国名 |
| 【事業の計画】 |  | |
| 1. ROUTEでの研究成果の概略（また、受賞歴や発表歴があれば記載） |  | |
| 1. 派遣時期および日数 |  | |
| 1. 派遣先からの許諾状況（実施予定内容も含む）または国際学会からの採択状況（発表形式も含む） |  | |
| 1. 派遣先研究室の連絡先または学会の連絡先 | 氏名 | |
| E-mail or 学会Website | |

記入例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請主体  （EP名、EP代表名） | 〇〇EP、〇〇　〇〇 | |
| アドバイザ教員名 | 〇〇　〇〇　教授 | |
| 事業内容のカテゴリ  (〇で囲む) | 研究室訪問 国際学会 | |
| 派遣者（学生） | 氏名　〇〇　〇〇 | EP/学年  ○○○○EP  ○年 |
| E-mail \*\*\*\*@ynu.jp |
| 派遣先の研究機関・学会 | 研究機関名・学会名  University of \*\*\*\* | 国名  USA |
| 【事業の計画】 |  | |
| 1. ROUTEでの研究成果の概略（また、受賞歴や発表歴があれば記載） | 2024年\*\*月からROUTEに参加し、〇〇〇〇の研究を進めている。この分野では、〇〇〇については良く分かっているが、〇〇〇かどうかについては不明である。そこで、〇〇〇の研究を行ったところ、〇〇〇などの研究成果を得ている。（派遣学生は、この成果により〇〇賞を受賞した。派遣学生はこの成果を〇〇で発表した。） | |
| 1. 派遣時期および日数 | 2025年12月、７日間 | |
| 1. 派遣先からの許諾状況（実施予定内容も含む）または国際学会からの採択状況（発表形式も含む） | 派遣先の研究室PIであるProf. 〇〇から、受け入れの承諾を得ている（研究成果を研究室セミナーで発表し、共同研究の可能性について議論する。予備実験を実施する）。  〇〇学会（参加人数の規模：1000名）より採択通知を受け取っている（口頭発表） | |
| 1. 派遣先研究室の連絡先または学会の連絡先 | 氏名  Prof. 〇〇 | |
| E-mail or 学会Website  \*\*\*\*\*@mit.edu | |